

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 3 月 25 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法根根拠. Includes details for '自治金融損失補償寄託事業' and '商工業の振興'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the compensation agreement and business support.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (e.g., 寄託金額, 貸付金融機関数, 代位弁済実地件数) across years 26-30.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) for 26-30 degrees, categorized by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs.

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 27 and 28 degrees, including '22 補償補填及び賠償金' with a total of 3,000.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 28, 29, and 30 degrees, including a list of main activities and a directional arrow.

事務事業名	自治金融損失補償寄託事業	事務事業No.	50202000531	所属課	商工観光課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？  
 中小企業事業資金融資あっせん事業の一環として開始された。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 特になし

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	本事業は中小企業事業資金融資あっせん事業を行う上で必要な事業であり、地域商工業者の金融の円滑化を側面から支援するというものであり、市の政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	中小企業事業資金融資あっせん事業は県、市町村、信用保証協会、金融機関が連携して行うものである。市が代位弁済額の一部を負担することで、金融機関の債権回収不能が減少し、融資を受けやすくなるという制度のため、公共関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	代位弁済の実施件数及び代位弁済額の減少が望ましいが、本事業の範囲では向上余地がない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	中小企業事業資金融資あっせん事業を行う上で必要な寄託事業であるため廃止は不可能である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名)	<input type="checkbox"/> 余地がない	
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費の削減は、代位弁済額が減少するしかないため、本事業の範囲内では削減の余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	平成19年度以降に融資を受けた者の代位弁済の負担割合は保険64%、金融機関20%、市8%、保証協会8%である。平成19年度以降は、責任共有制度ができ、受益者負担の観点から金融機関もリスクを負担することになった。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	震災の影響は今も続いているため、平成27年度も代位弁済件数が増加すると、追加寄託の可能性もあるため動向を注視する必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
	(6) 事務事業優先度評価結果																						
成果優先度評価結果																							
コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う）	確認欄 <input type="checkbox"/> C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> D：2次評価へ提出